



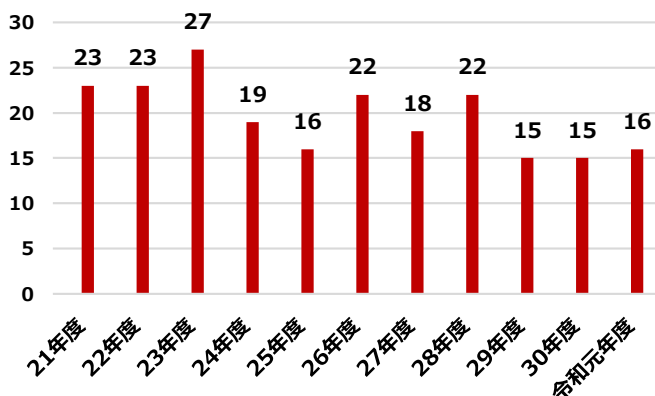
院内感染対策ニュース

第80号 2020年5月20日
院内感染対策委員会

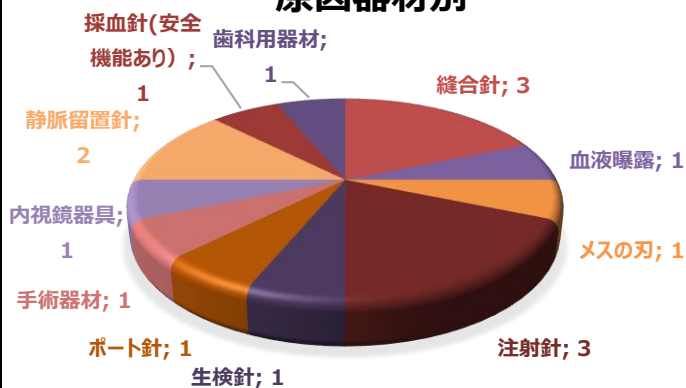
2019年度 針刺し・血液体液曝露事故報告

新年度が始まり1か月以上経過しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛生活が長引いていますが体調は大丈夫でしょうか？今回は2019年度 針刺し・血液体液曝露事故報告と新型コロナウイルス感染症に関する情報も少しお伝えします。

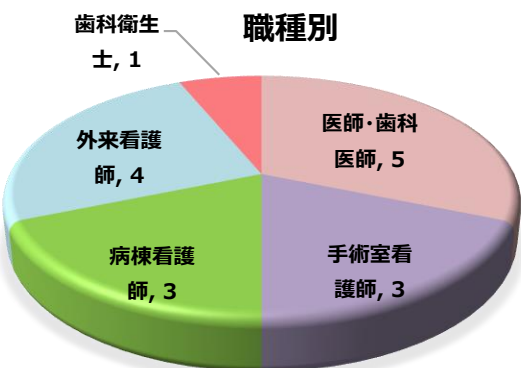
年度別事故件数



原因器材別



職種別



2019年度の針刺し・血液体液曝露事故件数は「15件以内」を目標に掲げていました。しかし、16件の事故発生となりました。3月に3件の事故が発生しています。主な事故は以下に示します。

- ※意識レベル低下患者の注射時に体動があり針が抜け刺さった。
- ※採血後、安全機能を作動させようとした際に誤って針が刺さった。
- ※手術中、生検針が刺さった。

職種別では医師、看護師が大半を占めています。針を扱う機会が多いためですね。今年度の事故原因を振り返ると、器材の正しい使い方ができていなかったり、針を扱う人と介助者のタイミングが合わなかったことも事故の一因になっているようです。新しい職員や新人看護師も入り、慣れない業務や器材での事故が増える可能性があります。使用したことのない器材を扱う際には正しい使用方法を必ず確認してください。

新型コロナウイルス情報

「濃厚接触者」の定義が最近変わりました。みなさん、ご存じですか？

新たな定義は「**症状の出た2日前から1メートル以内で、予防策なしで15分以上接触**」となりました。マスクをしていれば1メートル以内の距離にいても濃厚接触者には該当しません。しかし、マスクをしていればよいということではありませんので、手洗い、手指消毒もしっかり実施しましょう！

これまでの受診の目安は「**37.5℃以上が4日以上続く場合**」としていましたが「**37.5℃以上**」という熱の基準が削除されます。**息苦しさや強い体のだるさ、高熱などの「強い症状がある」**場合はすぐに**帰国者・接触者相談センター**に相談すると変更になります。

しかし、受診すれば必ずPCR検査を実施するということではありませんのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

新型コロナウイルス感染症が日本各地で発生しております。4月以降、全国で感染者が増加しており緊急事態宣言が出されています。日頃からマスク着用（症状がなくても）、外出後の手洗い、人ごみは極力避ける、人の手がたくさん触れる場所に触った後は手洗いや手指消毒をする等の基本的な行動が重要です。また、**密閉・密集・密接の3つの「密」**を避け、不要不急の外出は控えましょう。新しい生活様式をご確認ください。

厚労省では電話相談窓口が開設されています。ご不明な点は厚労省又は地域の保健所へご相談下さい。また、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談下さい。くれぐれも、直接医療機関へ赴くことはお控え下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。